

報道機関各位

「令和6年度第1回農業働き手確保対策ワーキングチーム会議」の開催について

本県では、農繁期の働き手確保に向けた各種取組みを、山形県農業働き手確保対策協議会を中心に、関係機関等と連携した体制のもと実施しております。

このたび、令和6年度上期の各団体の取組み結果を共有するとともに、今後の取組みについて意見交換を行うため、標記会議を下記のとおり開催しますので、取材・報道についてよろしくお願ひします。

記

- 1 日 時 令和6年10月10日（木） 13時30分から15時まで
- 2 会 場 山形県私学会館 2階 大会議室（山形市松波四丁目6番11号）
- 3 内 容
（1）令和6年度上期の取組み実績について
（2）今後の働き手確保の取組みについて など

【問い合わせ先】

山形県農業働き手確保対策協議会
（事務局 農業経営・所得向上推進課）
課長補佐 後藤 克典
電話 023-630-2286
報道監 農林水産部次長 高橋 和博

1 概要

農繁期における働き手を確保するため、今年度からスタートした「外国人材活用トライアル事業」をはじめ、「やまがた農業ぷちワーク」や県職員による「やまがたチェリサポ職員制度」、「元気な農業人材確保プロジェクト事業」などの取組みを実施。

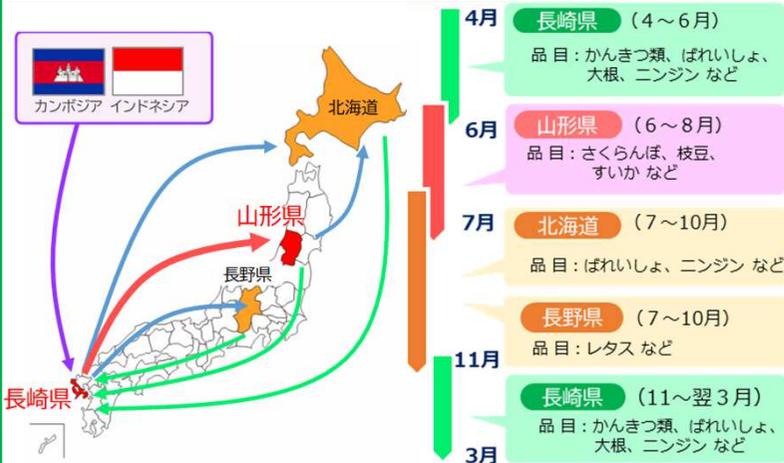
2 実施状況

(1) 外国人材活用トライアル事業

農繁期の異なる他県と連携したリレー派遣の取組みの試行を通して、人手不足の解消に向けた新たな手法を検討

- 受入した外国人材の人数：**延べ23人** (R6目標:20人)
(9/20時点)
- 国籍:カンボジア(15人)、インドネシア(8人)

■ リレー派遣のイメージ



■ 外国人材を受入れた経営体の感想

- 仕事の覚えが早く、期待以上の働きぶり
- 手先が器用、来年も同じ人に来てほしい
- 外国人材の働きに影響を受けて、日本人の従業員も活気づきはじめた



すいかの出荷作業打ち合わせの様子▶

■ 外国人材の受入状況

主な品目	経営体数 (外国人材数)
さくらんぼ	3経営体(6人)
きゅうり	2経営体(4人)
すいか	3経営体(5人)
りんどう	1経営体(1人)
ゆり	1経営体(2人)
ズッキーニ	1経営体(2人)
枝豆	2経営体(3人)
合計	13経営体(23人)

■ 外国人材を歓迎する交流会

- 外国人材同士や地域住民等との交流を目的に、地域ごとに計4回開催

歓迎会の様子(村山市) ▼



(2) やまがた農業ぷちワーク

1日農業バイトアプリ「daywork」を活用したマッチングの推進

- 成立数：**延べ14,134人** (R6目標:延べ15,000人)
(9/20時点)

■ マッチングの状況 (単位:人)

	4/1~9/20		前年対比
	R6	R5	
求人数	15,809	11,498	137%
成立数	14,134	10,188	139%
成立率	89%	89%	±0

- R6年度は、求人数・成立数ともにR5年度を大きく上回り、前年対比で約1.4倍

(3) 元気な農業人材確保プロジェクト事業 (農作業受委託モデル)

県外からの多様な人材の呼び込みによる農作業受委託モデルの実証(県・JA全農山形・JTBによる三者協定プロジェクト)

- 参加人数：**延べ2,055人** (R6目標:延べ5,000人)
(9/20時点)

※R5同時期比(9/22)

■ 参加者の状況 (単位:人)

メニュー(ターゲット)	R6	R5※	前年対比
アグリワーケーション(首都圏等の企業の社員)	248	203	+45
アグリツアー(首都圏等の旅行者)	463	392	+71
アグリキャンプ(大学の部活動・ゼミ活動など)	37	22	+15
上記以外の農作業受委託参加	1,307	1,080	+227
合計	2,055	1,697	+358



(4) やまがたチェリサポ職員制度

県職員の副業によるさくらんぼ収穫・出荷作業等への従事実績(期間:5/3~7/15)

- 従事人数：**延べ130人** (R5:168人)
※申請者数:41人 (R5:56人)

- 9割の職員が、今後も働きたいと回答
- 今後も働きたい理由は、自身の満足感の充足や、人手不足の農家の助けになりたいとするものが多い。

アンケート調査結果

